

第23回 終戦記念展

昔、戦争があった

—旧大郷村役場文書にみる戦争—

戦後80年



国民兵召集令状

2025年

7月15日火 ▶ 8月31日日

午前9時～午後5時(ただし、入館は午後4時30分まで)

休館日／月曜日・祝日の翌日

会 場／浅井歴史民俗資料館 1階展示室



徴兵二関スル書類綴



大郷村八木浜地図



在郷軍人名簿



飯ごう

布カバン

水筒



「名譽の家」札

「出征軍人」札



「海軍甲種飛行豫科練習生徴募」ポスター

主 催：長浜市

浅井歴史民俗資料館

第23回 終戦記念展

今年には終戦から80年を迎える節目の年です。今回の終戦記念展では、旧大郷村役場文書のうち、『^{おおさと}兵事関係文書』と呼ばれる戦前から戦後の兵事行政にかかわる文書群を紹介します。『^{へいじ}兵事関係文書』は、徴兵検査などの徴集のほか、戦時に在郷軍人を軍隊に呼び出す召集、動員に関する文書、出征兵士の家族支援にかかわる軍事救護に関する文書などからなります。こうした兵事関係の文書類は全国的にはほとんど現存していません。

終戦時に軍から戦時動員に関する文書を焼却する命令が口頭伝達であり、多くの文書が処分される中、旧大郷村の兵事関係文書は当時の兵事係・西邑仁平氏(1904-2010)により残されました。一部欠失はあるものの、明治時代から終戦までの文書がまとまった形で現存しています。当時の戦時体制に組み込まれた最末端の行政組織として住民と直接向き合っていた村役場の実態を示す、近現代史の非常に貴重な歴史資料といえます。

本展では、これらの資料から戦争の時代に翻弄された当時の人びとと地域に与えた影響をたどります。

主 な 展 示 資 料

動員二関スル書類綴

昭和6年(1931)～昭和7年(1932)

召集令状、いわゆる「赤紙」を届けた記録。

令状は敦賀連隊区司令部(陸軍の徴兵・動員・召集・在郷軍人の指導等を掌る機関)から警察署を通して各市町村役場に昼夜を問わず届けられ、直ちに本人に届けられた。通常は一通から数通の単位であったが、昭和7年2月3日の項には臨時召集令状10通が警察署から配達され、全員に届け終えたことが記されている。



『湖郷の便り』

昭和13年(1938)

中国戦線で戦う滋賀県出身の将兵に、郷土の近況と銃後の護りがいかに固められているかを知らせるため、県下の各市町村からの報告を載せている。「湖郷」とは琵琶湖を中心とする滋賀県の郷土を表している。この小冊子は各市町村から軍を通じて戦地へ送る慰問袋に入れられた。

兵事二関スル書類綴

昭和10年(1935)8月19日付け

昭和8年(1933)～昭和20年(1945)

大郷村長から各区長に宛てて、「現役軍人武運長久祈願祭執行ノ件」が下された。この武運長久祈願祭の正式名称は「東浅井郡出身出動軍人武運長久祈願祭」という。昭和10年6月26日と27日に虎姫駅から列車に乗り、大阪港などから満州に出動していった「外山部隊」第九師団のうち、東浅井郡出身将兵の武運長久を祈願した行事が記されている。大郷村では同年8月23日午後3時から川道神社において、青年団、国防婦人会らの共催により祈願祭が行われた。



展示説明会 7月27日(日) 午後1時30分～ 会 場：浅井歴史民俗資料館 1階展示室

第2回歴史講座

「戦争」の終わらせ方

講 師 原田 敬一氏
(佛教学名譽教授)

日 時 令和7年8月3日(日) 午後1時30分～

会 場 浅井図書館2階視聴覚室

受講料 500円(あざい歴史の会員は無料)

浅井歴史民俗資料館

〒526-0251 滋賀県長浜市大依町528(浅井文化スポーツ公園内)
TEL/FAX 0749-74-0101 E-mail: rekimin@city.nagahama.lg.jp

□開館時間／午前9時から午後5時(入館は午後4時30分まで) □休 館 日／月曜日、祝日の翌日

□入 館 料／大人350円 小中学生150円(団体割引20名以上 一般300円 小中学生130円)

※長浜市・米原市の小中学生は無料

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保険福祉手帳等をお持ちの方及びその付添いの方1名は無料。(ただし、証明となる手帳等の提示が必要)



【交通アクセス】

◎JR長浜駅から車で約20分

◎北陸自動車道・長浜IC.、小谷城S.I.C.から約10分

◎湖国バス高山線で浅井三姉妹の郷下車徒歩約10分